



西の風 vol.3

平成 29 年 6 月 6 日 発行
二宮町立二宮西中学校 学校便り
発行者 松本雅志

5 連休で始まった 5 月でしたが、体育祭、中間テスト、修学旅行と立て続けに行事があり、あっという間に 1 か月が過ぎてしまった感があります。忙しい中でも、生徒たちは一つ一つの行事に真剣に取り組む姿を見せてくれました。中学校生活の良き思い出として、心のページに刻まれることを願っています。

◎盛り上がった体育祭！

13 日（土）が雨となり、翌 14 日の日曜日に実施となった第 38 回体育祭。当日の朝はグラウンドの状態も一部ぬかるんでおり、どうなるかと心配されましたが、職員が総出でグラウンド整備を行い、生徒が登校するころには実施できるまでになっていました。

5 月の天候は暑くもなく、スポーツには最適でした。今年度は、1 年から 3 年まで 3 クラスで揃ったため、学年縦割りでの色別対抗ができることとなり、より盛り上がった体育祭となりました。

特に、本番当日の朝の色別集会は、どの色も気合十分に、個性あふれるパフォーマンスを披露していました。

開会式に引き続いて行われた各競技でも、生徒たちが一生懸命に取り組む姿が見られました。とりわけ、各学年で工夫を凝らして企画した学年種目ではユニークなものが多く、1 年生の「台風の目」2 年生の「二人三脚バルーンリレー」3 年生の「綱がる思い」（変形綱引き）のそれぞれの競技においてクラスの威信をかけた戦いが見られました。

午後には、タイヤ取り、戦国時代といった全学年の男女が本気で戦う種目もあり、その迫力に目を奪われました。

そして、クライマックスの「みんなでジャンプ」「学級別対抗リレー」の頃には全生徒が本気になり、見ている観客も巻き込んでの大熱戦となりました。

閉会式では、優勝したクラス、色別の表彰はありましたが、全校の生徒が本気で取り組んだ体育祭の心地よい余韻が残っていました。

体育祭で培ったクラスの団結や友達との絆を忘れずにいて欲しいと願っています。



台風の目



二人三脚バルーンリレー



タイヤ取り



戦国時代

◎楽しかった修学旅行

5月24日（水）～5月26日（金）まで3年生は奈良・京都に2泊3日の修学旅行に行ってきました。5月の4週目は全国から修学旅行が殺到するピークであり、現地は多くの修学旅行生や外国人観光客でかなり混雑していました。そのような状況の中でも本校の3年生は公衆道徳やルールをよく守り、安全に楽しく3日間を過ごすことができました。

1日目の奈良では、東大寺の散策、法隆寺の見学、薬師寺での見学と法話と忙しい日程でした。特に、薬師寺では僧侶による法話がとても楽しく心に残るものでした。

薬師寺の僧侶の法話

・お寺を建立する際には、樹齢何千年もの樹木を切り倒し使用する。古の宮大工たちは「千年生きた木の命を奪うならば、千年持つ寺社を立てなければならない」と考えた。自分の命が尽きても、後世に大切なものを残す使命が人としての生き方である。

人が「面倒くさい」と言う時には文字通り「顔がうつむいている」これを上に向けて、明るく照らされた状態は「白く」なる。これを「面白い」と言う。「面倒くさい」と言って下を向いて生きるか、「面白く」顔を上げて生きるか、自分が決めることである。

2日目の班別自主見学では、朝のうちは雨模様でしたが、昼には雨も上がり、程よい気温でどの班もはぐれたり、トラブルになることもなく無事に予定を終了し、5時15分前にはすべての班が宿に戻ってきました。疲れをとる間もなく、夜はお待ちかねの「フォトコンテスト」と「ナイトプログラム」が行われました。「フォトコンテスト」ではそれぞれの班が「京都らしい」風景を写した写真が紹介され、最後には最優秀賞とプロの目から見た賞も贈られました。

「ナイトプログラム」では、歌や踊り、芸からパフォーマンスといった出し物が披露され、学年が一つになった大変楽しい時間でした。

最終日は、朝5時半に起床したのち西本願寺の朝のお勤めに参加し、朝食後、北野天満宮、嵐山、金閣の見学をし、夕方京都を発ちました。

2泊3日のあわただしい旅行でしたが、3年生の皆さんは中身の充実した良い体験ができたのではないのでしょうか。



◎開校記念日

6月2日は本校の開校記念日です。昭和55年に開校した本校は38年目を迎えます。今まで、6千人余りの卒業生が本校を巣立っていきました。最近では卒業生の子どもたちが生徒になっているケースも少なくありません。校長室前に「西中のあゆみ」を展示してあります。保護者の皆様にもご覧いただけたら幸いです。